

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 1 月 6 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	二宮木材本社工場における木材乾燥用木質バイオマスボイラの新設による排出削減事業
排出削減事業者名	二宮木材株式会社
排出削減共同実施事業者名	東京電力株式会社
事業実施場所	本社工場（栃木県那須塩原市四区町 741-5）
事業の概要	木材乾燥用のボイラを新設するに当たり、カーボンニュートラルとして CO2 を実質的に排出しないものと見なされる木質バイオマスボイラ 1 台を新設導入し、化石燃料により稼働するボイラを利用した場合に比べて CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	999 t CO2/年（事業実施期間合計 4,235tCO2）
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 1 月 10 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001-A バイオマスを燃料とするボイラーの新設

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：二宮木材株式会社本社工場</p>
追加性を有すること	<p>1)本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者への質問等により確認した。</p> <p>2)排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により全体で 3.04 年であることを確認し、投資回収年数計算の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。</p> <p>3)本事業は、従来から天然素材・国産材の与える環境や生活への付加価値を意識してきた本事業者が、新工場の稼働に際して、導入するボイラー燃料を事業活動に付帯して発生する木屑などにすることにより、これらを有効活用すると共に、CO2 排出量の低減に貢献したいという強い要望により実現したもの。新工場の設立に伴う事業として、用地取得を始めとして本事業者への投資負担は大きく、昨今の不況の中、市況の影響も受ける製材業者として投資への意思決定には慎重を要したが、林野庁などの国内クレジット活用の推奨もあり、本事業の実施を決定したことを確認している。</p> <p>国内クレジット売却益により投資回収年数が短縮化されることも魅力の一つであった。</p> <p>また、本事業者としては、CSR の観点からは、本事業の国内クレジット化により環境配慮の姿勢をより明確にして、自社の国産スギ専門製材業としての付加価値を高めていく方針であることを確認している。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無については、排出削減事業者への質問および関連事業者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認した。</p> <p>当組合は栃木県木材協同組合連合会およびとちぎ高品質木材協同組合に所属しているが、いずれの団体も自主行動計画に</p>

	<p>参加していないことを確認した。</p>
<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1)本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001-A「バイオマスを燃料とするボイラーの新設」に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることをそれぞれ確認した。</p> <p>【方法論番号 001-A バイオマスを燃料とするボイラーの新設】</p> <p>適用条件 1 については、バイオマスを主たる燃料とするボイラーを導入していることを、現地往査の際の目視や仕様書の閲覧により確認した。</p> <p>適用条件 2 については、新設後のボイラーで生産した蒸気を自家消費していることを、現地往査の際の目視、ボイラー図面や敷地図の閲覧や関係者への質問により確認した。</p> <p>2)本排出削減事業により生じるバウンダリ外での温室効果ガスとして木屑のエアライン輸送による排出が考えられ、この排出量を算定した結果、排出削減量の 5%を超えず、リークage排出量を考慮する必要がないことを確認した。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リークageの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>

4. 特記事項

- ・投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。
- ・製材工場である本事業所で使用する木材は、栃木・茨城・福島の国産スギ材 100%であること、燃料となる木屑は新設工場である本事業所において新規に発生する製材端材であることを確認している。

以上